

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成29年度病害虫発生予察防除情報第6号

いちごハダニ類(育苗床)の防除対策について

4月下旬以降の気象が高温・乾燥傾向で推移しており、いちごの育苗床におけるハダニ類の発生が増加しています。ハダニ類の密度を下げするため、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 5月下旬の巡回調査(26筆)の結果、育苗床の子苗での寄生株率は15.8%(平成3.0%)、発生圃場率は80.8%(平成27.6%)であった(図1、2)。
- (2) 向こう1か月の気温は平成並または高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

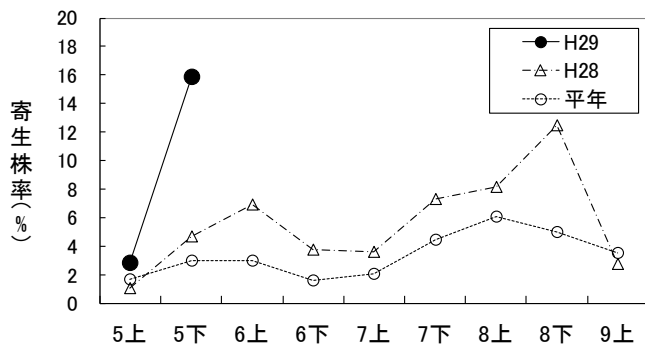


図1 ハダニ類 寄生株率の推移

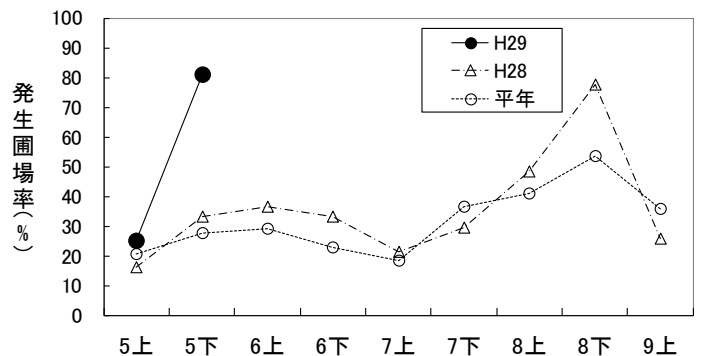


図2 ハダニ類 発生圃場率の推移

2. 防除対策

- (1) 今後、土着天敵の活動が活発になるので、天敵への影響が大きい有機リン系・カーバメート系・合成ピレスロイド系薬剤の使用は避け、気門封鎖剤等の天敵に影響の少ない薬剤を積極的に使用する。なお、気門封鎖剤は卵に対する効果が低いので5～7日おきに連続散布を行う。
- (2) 薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統の薬剤(平成29年長崎県病害虫防除基準P210～213の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
- (3) 下葉の裏に多く寄生するので、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。

○6月から8月までの3か月間は、農薬危害防止運動月間です。

農薬を使用する機会が増える時期です。事故を防ぐため、特に以下のことに気をつけましょう。

- ・ 農薬を使う前にはラベルに記載されている注意事項をよく読み、使用方法や使用上の注意を守りましょう。
- ・ クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤を使用するときは、揮散した薬剤が周辺に影響を与えないよう風向き等に十分注意するとともに、直ちに適正な厚さの資材を用いて被覆を完全に行いましょう。また、散布後は、ほ場に立て札を立てる等により、関係者以外の者の立入りを防ぐようにしましょう。
- ・ 散布の際には、周辺への飛散に気を付け、周囲の作物、住宅、家畜、河川などへの影響に注意しましょう。
- ・ 散布後は十分に器具を洗浄し、農薬の保管場所には必ず鍵をかける等適切に管理し、誤飲・誤食を防止しましょう。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

